

令和7年1月20日

報道機関各位

長岡市教育委員会学校教育課長



長岡市

「熱中！感動！夢づくり教育」を支える歴史ある取り組み 長岡市教育研究論文表彰式を開催

長岡市教育委員会は、昭和30年度から^{※1}教育研究論文事業を行っています。

これは、長岡市の教職員のレベルアップと児童・生徒の学力の維持・向上への寄与を目的として、市立学校の教職員が工夫を凝らした研究実践を行い、その成果を論文にまとめるもので、米百俵のまち長岡を象徴する歴史と伝統ある取り組みです。

このたび、今年度応募があった70編の論文の中から、4編の優秀論文と3編の入選論文を決定^{※2}し、表彰式を行います。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

長岡市教育研究論文「表彰式」

- 1 日時 令和7年2月3日（月）午後4時～4時40分
- 2 会場 さいわいプラザ6F大会議室（長岡市幸町2-1-1）
- 3 出席者 入賞者7人（別紙のとおり）
教育長、教育センター所長ほか
- 4 内容
 - (1) 優秀証・入選証の授与
 - (2) 教育長あいさつ
 - (3) 優秀論文執筆者の感想発表（4人）
 - (4) 講評



▲令和5年度 表彰式の様子

※1 昭和30年の事業開始から今年度で70年となりますが、昭和37年度から40年度まで4年間の中断と平成16年度の中止があり、表彰は今年度で65回目となります。

※2 優秀論文は教育センターのホームページに掲載し、教職員が活用できるようにします。提出された全ての論文70編は教育センターに保管し、閲覧可能になっています。

教育センターホームページ：<https://www.kome100.ne.jp/nkcenter/>

問い合わせ：学校教育課 教育センター 山田

令和6年度 長岡市教育研究論文 表彰概要

1 入賞者

	学校名	氏名	論文テーマ
優秀論文 (4編)	表町小学校	もりた ますみ 森田 真純	子どもの学び方を支える授業デザイン －自分に合う学び方を「自己調整」しながら進める 算数・習熟学習の実践から－
	川崎小学校	もと井 ともえ 元井 知恵	英語での対話的な言語活動の充実を目指して －Small Talk における児童同士の間評価の実践 を通して－
	川崎小学校	さわたに かおり 澤谷 佳織	思いや意図をもって歌唱表現を高めていく児童の 育成 －思いを醸成する場の設定と、思いと技能を結び付 ける活動の組織を通して－
	高等総合支援学校	こじま ゆうき 小島 祐貴	言語活動に課題のある生徒を対象とした段階的な 発話支援 －表現の日常化を促す取組と主体的な発信へのア プローチ－
入選論文 (3編)	阪之上小学校	いわうち たかひろ 岩内 貴寛	叙述を基に登場人物の行動や気持ちを具体的に想 像する子どもの育成 －2年「お手紙」・3年「ちいちゃんのかげおくり」 の学習を通して－
	和島小学校	うの こゆる 宇野 超	食物連鎖を舞台としたゲーム活動の学習活用 －「食って食われて」の導入とゲームアレンジを柱 として－
	総合支援学校	たけいし ゆうや 武石 侑也	重度・重複障害のある子の「人への気付き」を創り 出すためのアプローチ －呼名活動における行動表出の観察を通して－

2 選考について

(1) 評価のポイント

- ・ 研究内容が児童生徒の課題に正対し、課題解決への具体的提案性をもつこと。
- ・ 結論や結果が児童生徒の変容の姿や客観的データに基づき導き出されていること。
- ・ 主題設定の理由、仮説、検証、結論の流れが論理的で、矛盾がないこと。

(2) 論文審査員

新潟大学 中島 伸子 教授
森 恭 教授

長岡市教育委員会指導主事19人